

CHOFU

石油給湯器
〔油だき温水ボイラ〕

取扱説明書 (保証書付)

型名

PG-7004

PG-5304

PG-5304W

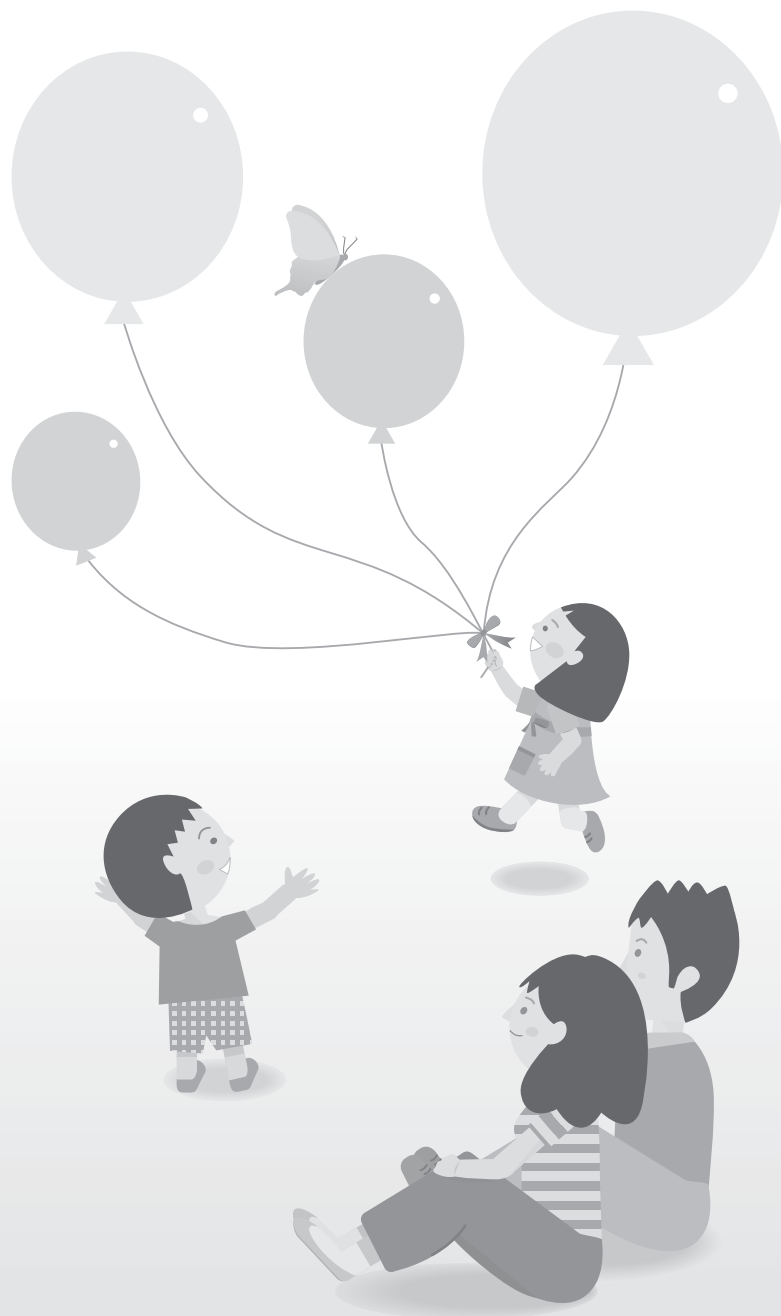
PG-5304F

PG-4004

PG-4004W

PG-4004F

PG-4004WF



このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。(PG-4004・4004W・4004F・4004WFのみ)
ご使用前に、『所有者票』(製品に添付)を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10193732 (DI)

取扱説明書をお読みになる前に

機器の能力タイプ・缶体タイプ・排気タイプを確認してください。



本書では必要な項目で機器の能力タイプ・缶体タイプ・排気タイプを記載して説明しています。
□(太枠)内に英数字や✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

1 機器前パネルの銘板に表示している
型名を確認してください。



2 型名から以下の表で能力タイプ・缶体タイプ・排気タイプを確認してください。

型名: PG-04
 数字 英字
 (70または53) (なし~2文字)
 または40

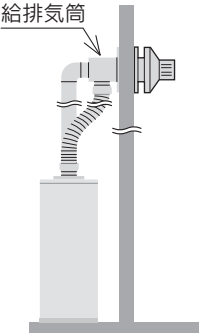
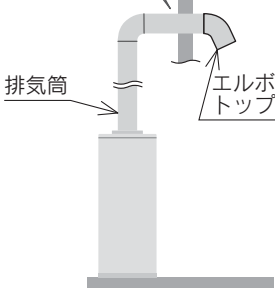
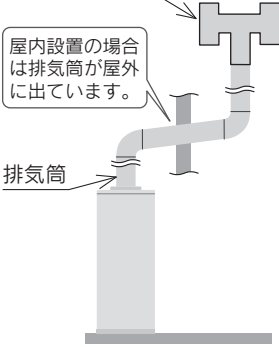
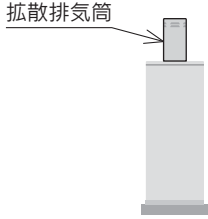
能力タイプ

70	☐ 70タイプ
53	☐ 53タイプ
40	☐ 40タイプ

缶体タイプ

Wが入っていない	☐ シングル缶タイプ
Wが入っている	☐ ダブル缶タイプ

排気タイプ

F	F以外は排気筒の形状を確認する		
☐ 強制給排気タイプ	☐ 強制排気タイプ	☐ 強制通気タイプ	☐ 無煙突タイプ
	排気筒の先にエルボトップがついている。 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 	排気筒の先にH型トップがついている。 H型トップ 屋内設置の場合は排気筒が屋外に出ています。 	拡散排気筒がついている。 

ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に	2
	特に注意していただきたいこと	4
	各部の名称(外観図)	11
	リモコンの名称とはたらき	13
	ご使用前の準備と確認	14
使基 い本 かの た	シャワーやじゃ口でお湯を使う(給湯温度)	16
	暖房にお湯を使う(暖房運転)	18
	(自動運転)	19
必要 な と き に	冬期の凍結による破損防止について	
	(凍結予防)	20
	(水抜き後の再使用のとき)	22
	(凍結したとき)	23
	長期間使用しない場合	23
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	24
	定期点検	28
	法定点検(PG-4004・PG-4004W・PG-4004F・PG-4004WFの場合)	28
	あんしん点検(PG-7004・PG-5304・PG-5304W・PG-5304Fの場合)	29
	故障かな?と思ったら	
	(修理を依頼する前に)	30
	(安全装置)	32
	(その他の装置)	32
	(エラーコード)	33
	部品交換について	35
	仕 様	36
	据付け	39
	試運転	39
	保証書	巻末
	アフターサービス	裏表紙

困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 6ページ

お手入れは
どうしたらいいの？

▶ 24～27ページ



給湯器の動きが
いつもと違う

▶ 30～34ページ

リモコンに
エラーコード
が出ている！

▶ 33・34ページ

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

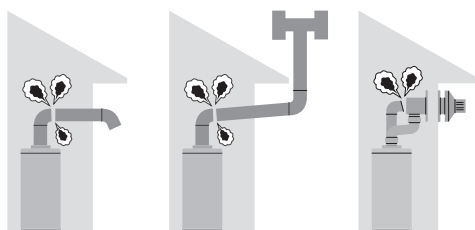
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●排気筒・給排気筒はずれ危険 (屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒や給排気筒(管、ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

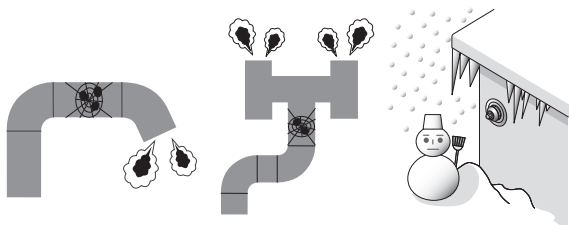


●排気筒・給排気筒閉そく危険 (屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒や給排気筒(管、ホース)がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪やツララでふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。



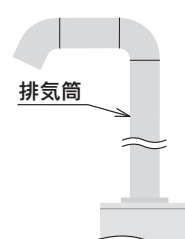
●改造・分解禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)

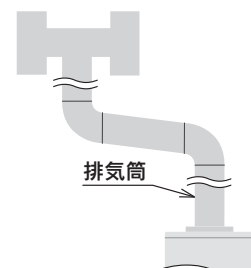
絶対に改造や分解は行わないでください。改造や分解は機器の安全性を損ないます。



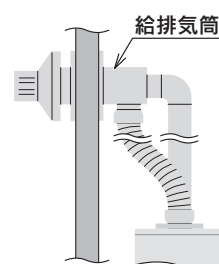
強制排気タイプ



強制通気タイプ



強制給排気タイプ



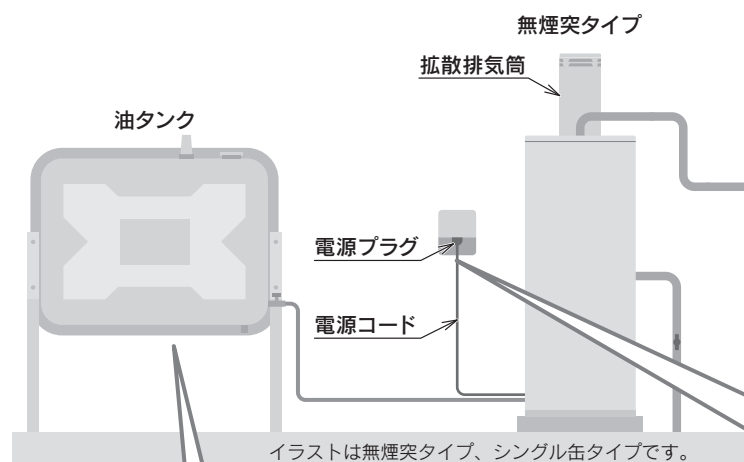
無煙突タイプ

拡散排気筒

油タンク

電源プラグ

電源コード



イラストは無煙突タイプ、シングル缶タイプです。

●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な 警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

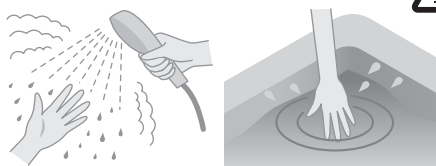
以下の場合は一時的に熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用する時
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

(やけどのおそれ)



●電源コードは切断して延長しない

(火災・感電・発熱の原因)

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

地震や火災などの緊急時の処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

● ゴム製送油管の点検・交換をする (強制給排気タイプの場合 2ページ)



屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

● 油漏れに注意する



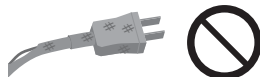
(火災の原因)

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。



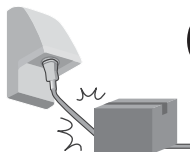
電源コード、電源プラグ、アースについて

- 傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない
(火災や感電の原因)



- 電源コードに無理な力を加えない
(火災や感電の原因)

- ・ 無理に曲げない
- ・ 引張らない
- ・ ものを載せない
- ・ 衝撃を与えない

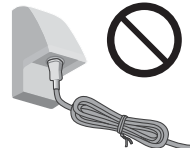


- 傷つけたり、破損させたりしない
(火災や感電の原因)

- 電源コードを引張って電源プラグを抜かない
(火災や感電の原因)



- 電源コードは束ねたまま使用しない
(火災や発熱の原因)



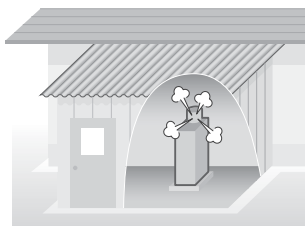
- 電源プラグを抜いて停止させない
(火災や故障の原因)



囲い禁止(屋外設置の場合)

(不完全燃焼や火災の原因)

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器や排気部などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプです。



- 排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない

(健康を害するおそれ)



- 電源プラグを濡れた手で触らない

(感電するおそれ)

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。



- 電源プラグは確実に差し込む

(火災・感電・発熱の原因)



- 電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



- アースを確認する

(感電するおそれ)

この機器はアースが必要です。アースが接続されてない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



使用上の注意

- 給湯・シャワー・暖房以外には使用しない

(思わぬ事故の原因)



- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。



- 純正部品以外は使用しない

(事故や故障の原因)



- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

(火災・感電・事故の原因)



- 長期間使用しないとき

(火災や思わぬ事故の原因)



「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **21ページ**

- 冬期の入浴について

冬期など浴室や脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者の方は、入浴事故につながるおそれがあります。入浴前に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めてください。浴室で利用できる暖房機器がない場合でも、浴そうにふたをしないでお湯はりをしたり、シャワーでお湯を流したりして浴室を暖めることができます。



子どもに注意する

(思わぬ事故の原因)



- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない
- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)

1. 以下の場合はすぐに使用を中止する
 - ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
 - ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
 - ・ ススが出る
 - ・ 油が漏れている
2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う **30~34ページ**
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する



可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない

(火災の原因)

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。

- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

(爆発や火災の原因)

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



高温部接触禁止

- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒)に手など触れない

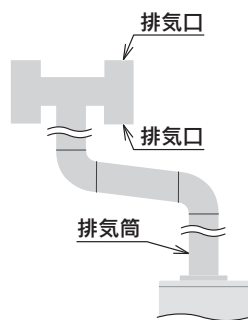
(やけどのおそれ)



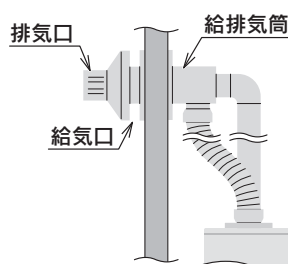
強制排気タイプ



強制通気タイプ



強制給排気タイプ



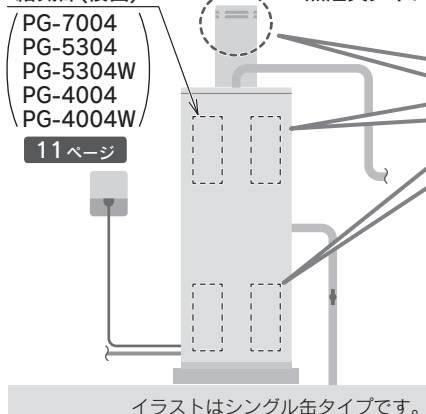
無煙突タイプ



給気部(後面)

PG-7004
PG-5304
PG-5304W
PG-4004
PG-4004W
11ページ

無煙突タイプ



イラストはシングル缶タイプです。

- 給気部や排気口に指や棒を入れない

(けがや事故の原因)



お願い

停電時の注意

●停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にする

停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。

ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。 **20・21ページ**

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない

(健康を害するおそれ)

飲用や調理に適さない水が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

(感電するおそれ)

濡れた手で電源プラグを触らないでください。



使用上の注意

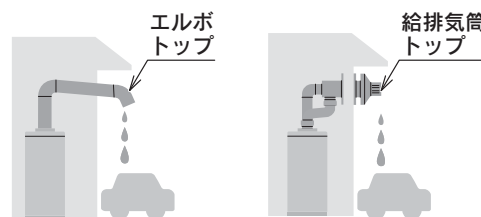
●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。

●エルボトップや給排気筒トップの真下にものを置かない

エルボトップや給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。

真下にものなどを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●高地で使用するときはご相談ください

(燃焼不良の原因)

標高1,000～1,500mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,500mを超える場所では使用できません。

●地下水・井戸水使用時の注意

水道水の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

●温泉水は使用しない

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

特に注意していただきたいこと

お願い

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



混合水栓について

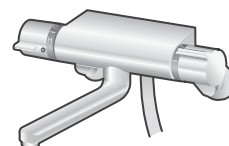
●通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する

(出湯量が少なくなる可能性)



●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●サーモスタット付混合水栓の使用を推奨 (やけど防止)



以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

●リモコンにエラーコードが出たとき

33・34ページ

(火災や事故の原因)

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。

●凍結のおそれがあるとき

20・21ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器内のお湯(水)について

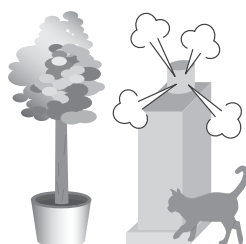
●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

(健康を害するおそれ)

雑用水として使用してください。

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

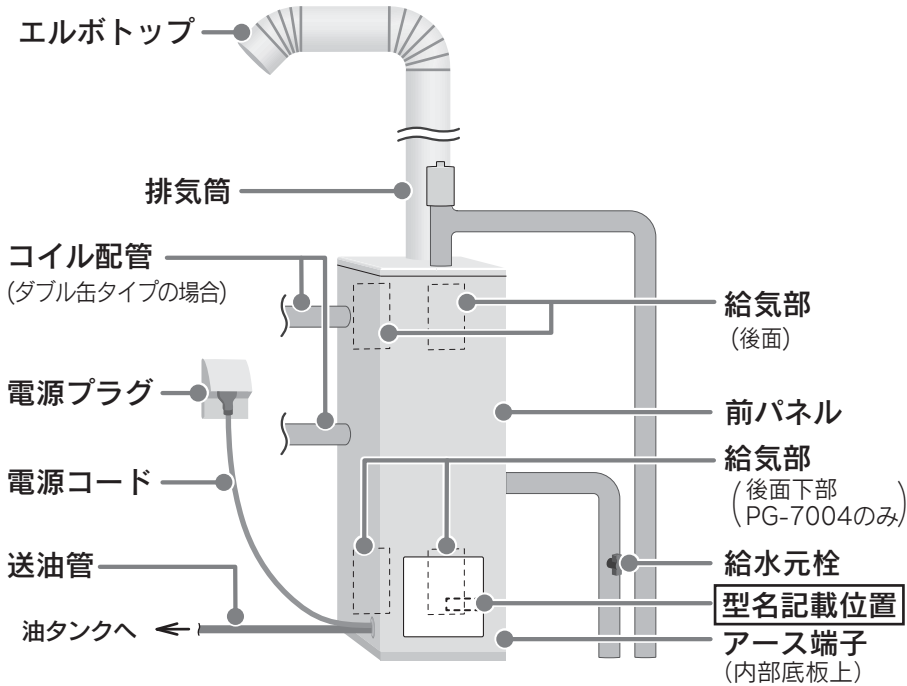
(変色・破損・腐食の原因)

各部の名称

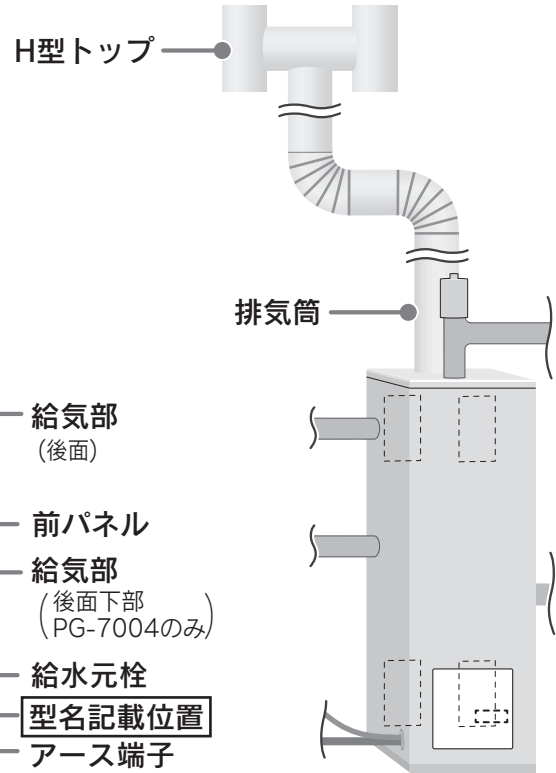
外観図

イラストはイメージです。

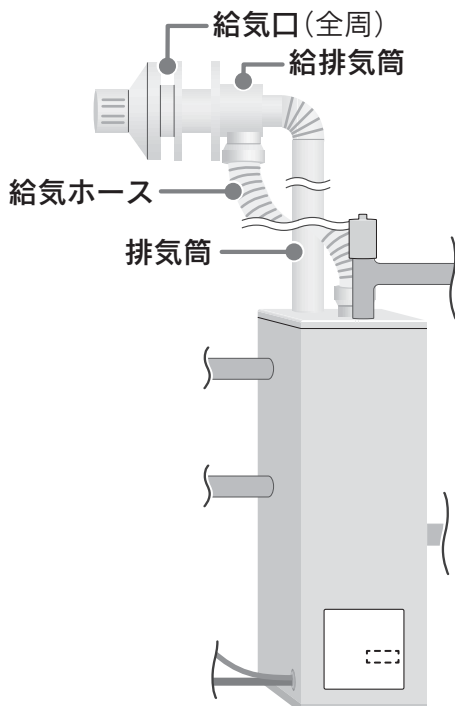
強制排気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(エルボトップ)取付時



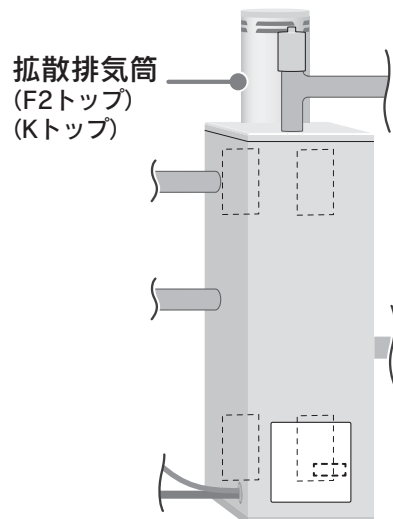
強制通気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(H型トップ)取付時



強制給排気タイプ(屋内設置) 2ページ ※給排気筒取付時



無煙突タイプ(屋外設置) 2ページ ※拡散排気筒取付時



ご使用の前に

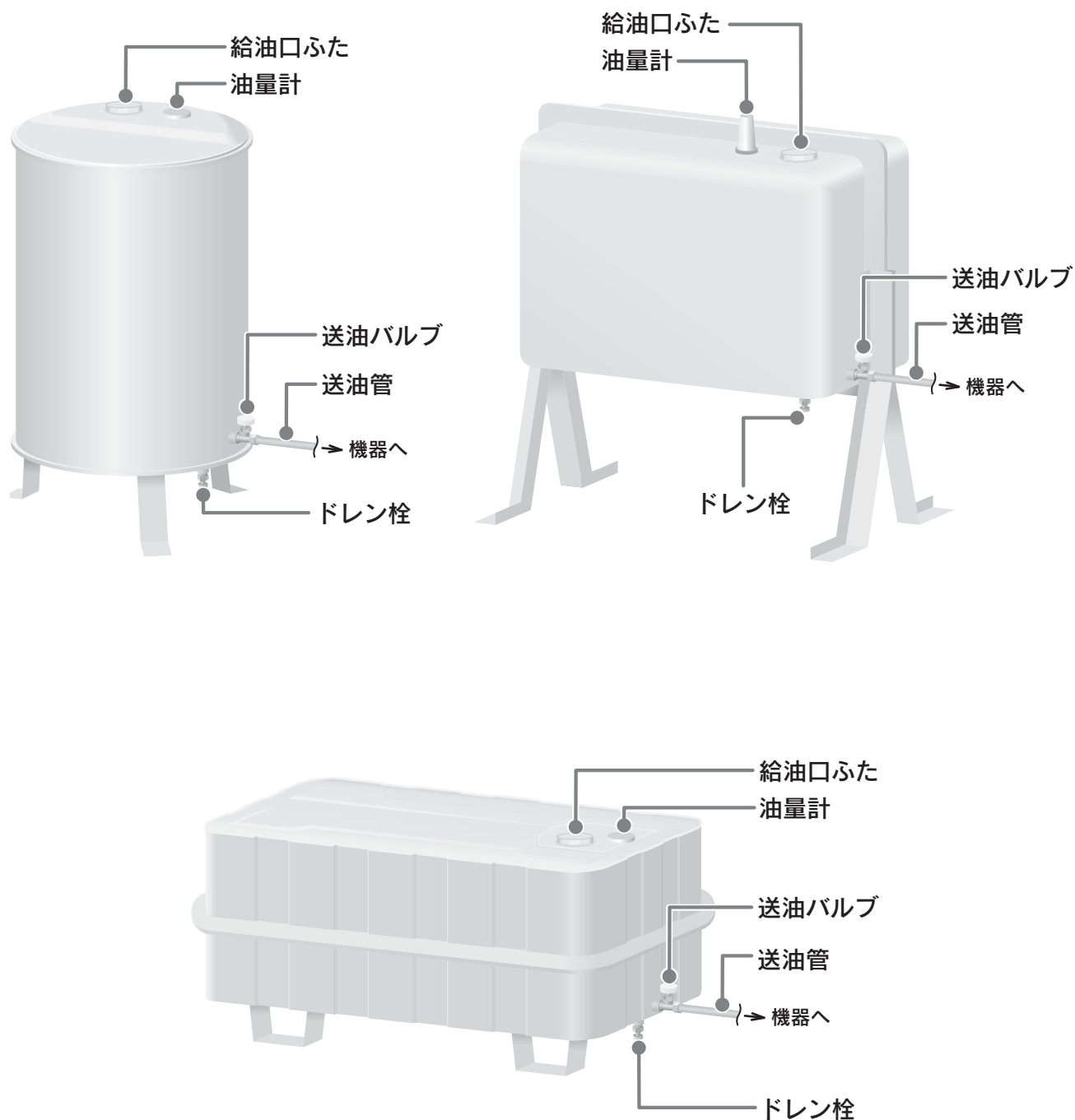
基本の使いかた

必要なときに

各部の名称

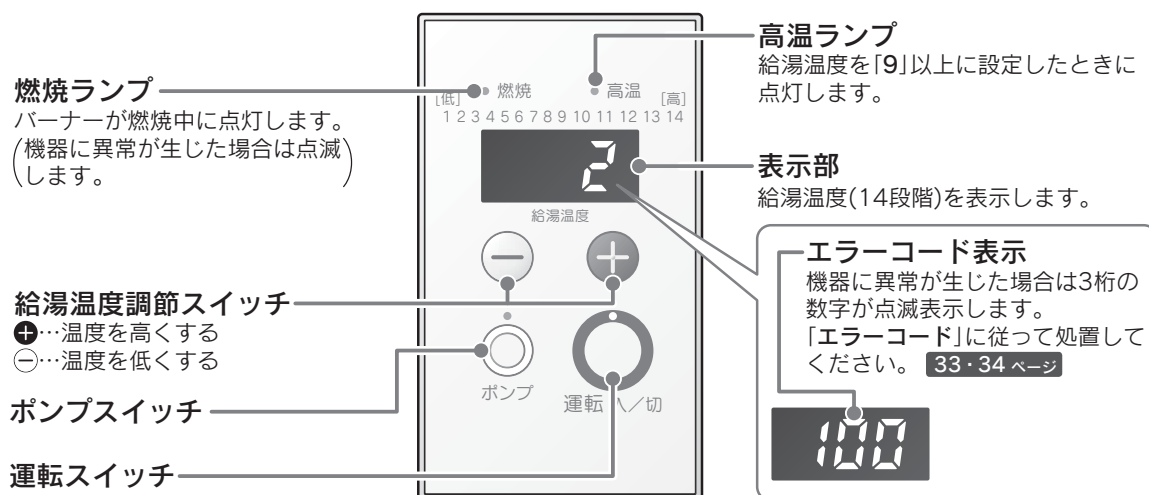
油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なります。)



リモコンの名称とはたらき

リモコン(CMR-2808)



省エネ表示について

- 約5分間操作を行わないと表示部および各スイッチランプの明るさが暗くなり、省エネ表示になります。給湯温度を「9」以上に設定したときは、省エネ表示になりません。
- リモコンのスイッチ操作をすると、元の明るさに戻ります。

ご使用前の準備と確認

燃料

警告

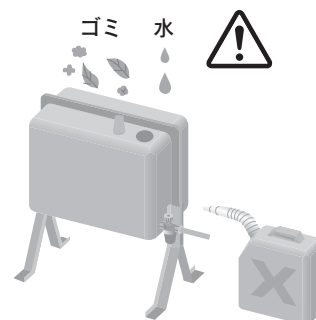
●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

●頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

●燃料切れを起こさないように、こまめに油タンクの油量計を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

●リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。 **33・34ページ**

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

油切れ予告装置(別売部品・OC-31)について

- 油切れ予告装置を取付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器本体・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすいものや引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受けるものを置かないでください。 **8・10ページ**
給気口・排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。



※イラストは無煙突タイプです。

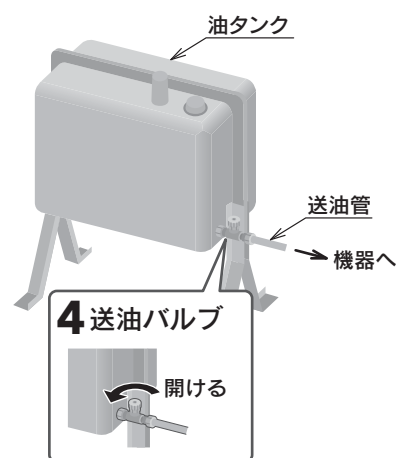
2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

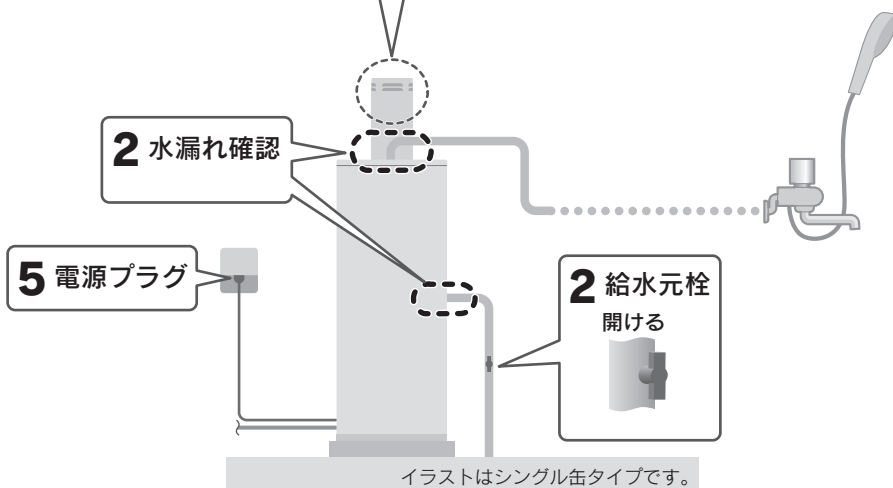
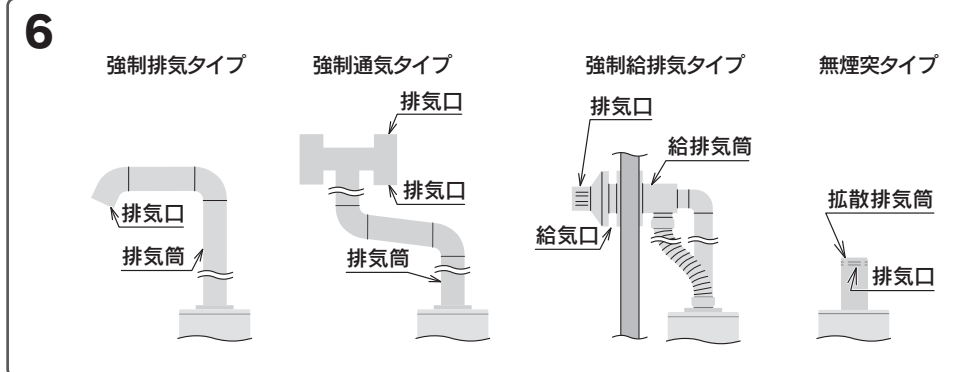


5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100Vです。200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒(屋内設置の場合)・給排気筒の確認

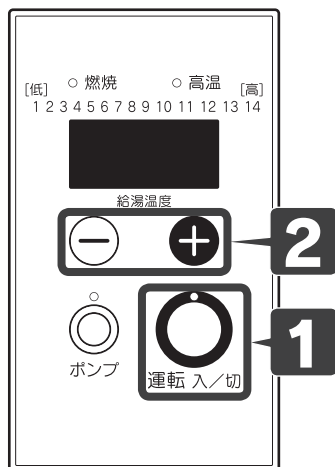
排気筒や給排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



シャワーやじゃ口でお湯を使う

給湯温度

シャワーやじゃ口から出るお湯の温度を設定します。



1 運転 入/切 を押して「入」にする

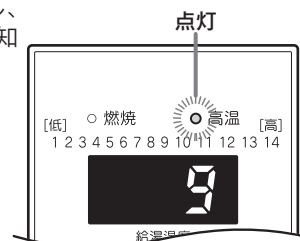
運転 入/切

●運転スイッチが「入」になるとリモコンの運転ランプが点灯します。



給湯温度が「9」以上に設定されている場合

リモコンの高温ランプが点灯し、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。



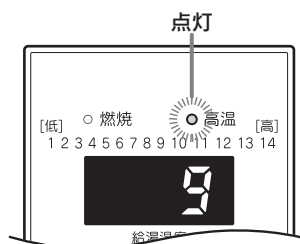
給湯温度のめやす

14	→	80℃
13	→	75℃
12	→	70℃
11	→	65℃
10	→	60℃
9	→	55℃
8	→	50℃
7	→	45℃
6	→	42℃
5	→	40℃
4	→	38℃
3	→	35℃
2	→	30℃
1	→	15℃

2 ー または ＋ を押して給湯温度を設定する

給湯温度設定範囲

1～14 (約15～80℃) の14段階



●給湯温度を「9」以上に設定した場合は、高温ランプが点灯します。

暖房温度のめやす

- 缶体を暖房として使用した場合、暖房出湯口(缶体出口)の温水温度は給湯温度のめやすの表より低くなる場合があります。
- 温水温度は配管・暖房負荷・流量により変化します。
- ダブル缶タイプのコイル側を暖房用として使用する場合、「給湯温度のめやす」の温度より10℃程度低くなります。

2ページ

バーナーが点火して燃焼している間は、リモコンの燃焼ランプが点灯します。

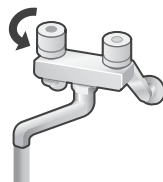
この給湯器は機器内にお湯を貯めています。バーナーは、お湯の使用や自然放熱などにより機器内のお湯の温度が下がると自動的に点火し、設定温度になると消火します。



3 給湯栓を開ける(お湯を出す)

- 給湯栓と給湯器が離れている場合は、お湯になるまでに時間がかかることがあります。

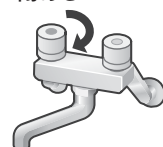
開ける



4 給湯栓を閉める(お湯を止める)

- 長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。

閉める



やけどに注意！

- お湯を使用する前は、リモコンの給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。
- ダブル缶タイプで給湯運転と暖房運転を併用している場合、熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

2ページ

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに使用してください。([給湯温度のめやす]参照 16ページ)

お湯の温度と量のめやす

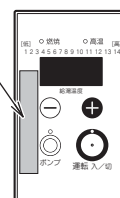
- 水道水の温度が20℃のとき、お湯の温度45℃・50℃・55℃・60℃・65℃で沸き上げ可能な最大量のめやすです。お湯の量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。
- 給湯量は機器から出湯できる最大能力を記載しています。
- 給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

お湯の温度	お湯の量		
	PG-7004	PG-5304 PG-5304W PG-5304F	PG-4004 PG-4004W PG-4004F PG-4004WF
45℃	2,400L/h	1,800L/h	1,360L/h
50℃	2,000L/h	1,500L/h	1,130L/h
55℃	1,710L/h	1,280L/h	970L/h
60℃	1,500L/h	1,120L/h	850L/h
65℃	1,330L/h	1,000L/h	750L/h

お知らせ

- ダブル缶タイプのコイル側を給湯用として使用する場合、お湯の温度のめやす表よりも温度が低くなることがあります。
- 付属の温度表示シールは、リモコンの表面パネル(右図参照)または近くの壁面などに貼ってご利用ください。貼り付ける前に、リモコンの表面の保護フィルムをはがして貼ってください。
- 給湯温度の「14」を約85℃に変更することができます。変更する場合はお買い求めの販売店にご相談ください。

温度表示シール
(この辺りに貼ってください)

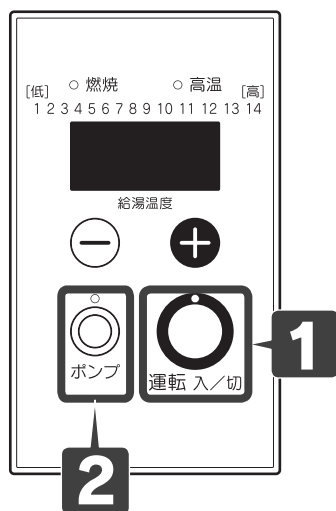


暖房にお湯を使う

※この機器は、暖房用として使用できます。ここでの説明は暖房用の循環ポンプ（現地手配）が接続されている場合の説明です。
※ダブル缶タイプの場合、給湯運転と暖房運転を併用することができます。

暖房運転

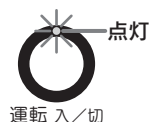
循環ポンプの運転・停止を行います。



1 を押して「入」にする

運転 入/切

- 運転スイッチが「入」になるとリモコンの運転ランプが点灯します。



2 を押して「入」にする

ポンプ

- ポンプランプが点灯し、循環ポンプが運転を開始します。



停止するときは  を押す
ポンプ

- ポンプランプが消灯し、循環ポンプが停止します。
- 長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。

お知らせ

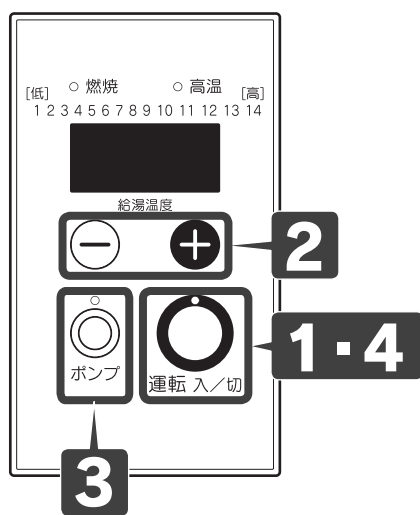
- 循環水温度の調節は給湯温度調節と同様に行ってください。 **16ページ**

自動運転

タイマーやE-CON対応の暖房末端機器など外部制御機器を使用して運転します。

- 給湯器はタイマーやE-CON対応の暖房末端機器(浴室換気暖房乾燥機など)からのON/OFF信号により、自動で運転・停止を行います。
- タイマーの接続はお買い求めの販売店にご相談ください。
- タイマーは無電圧接点型を使用してください。給湯器のタイマー/E-CON端子台に電圧がかかると給湯器が破損します。
- タイマーを接続した場合は、運転スイッチの「入・切」に関係なく、タイマーの設定時間に合わせ運転・停止を行います。

タイマーやE-CON対応の暖房末端機器を接続して運転する前に、下記の操作を行ってください。



1  を押して「入」にする
運転 入/切

- 運転スイッチが「入」になるとリモコンの運転ランプが点灯します。



2  または  を押して給湯温度を設定する

給湯温度設定範囲 **16ページ**
1～14(約15～80℃)の14段階

3  を押して「入」にする
ポンプ

- ポンプランプが点灯し、循環ポンプが運転を開始します。



4  を押して「切」にする
運転 入/切

- 運転スイッチが「切」になるとリモコンの運転ランプが消灯します。ポンプランプが消灯し、循環ポンプが停止します。



以上で完了です。接続した機器に合わせて運転します。

タイマーを接続した場合は、タイマーの電源を入れ、タイマーを設定する

- タイマーの設定時間に合わせ運転・停止を行います。

E-CON対応の外部制御機器を接続した場合は、外部制御機器の運転を「入」にする

- 外部制御機器の運転スイッチと連動して運転・停止を行います。

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)

凍結予防

凍結予防には「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときはバーナーを運転させ、機器内の給水経路の凍結を予防します。

1 給湯栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 給湯温度を「1」に設定する

特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯温度を「14」に設定しリモコンの燃焼表示が消灯するまで燃焼させたのち、給湯温度を「1」に設定してください。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯が出れば凍結していません。)
確認後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。
- 外部制御機器による自動運転をしているときは、外部制御機器の運転を「切」にしてから1・2・3の操作を行ってください。2の操作を行ったあとに外部制御機器の運転を「切」にすると運転スイッチが「切」になります。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

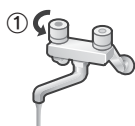
2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 屋内の1箇所のじゃ口から水を流してください。浴そう内に水を流すと洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。(浴そうにじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切換えて浴そう内に流してください。)
- 外部制御機器による自動運転をしているときは、外部制御機器の運転を「切」にしてください。
- 暖房用の循環水に水を使用しているときは、お買い求めの販売店に相談してください。

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

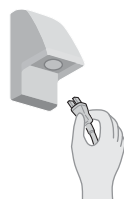
長期間使用しないときや電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
機器内の給湯用の水を抜きます。暖房用についてはお買い求めの販売店にご相談してください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

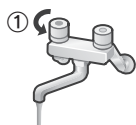
●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする
- 2 2分間以上経過してから電源プラグを抜く
- 3 給水元栓を閉める
- 4 排水栓(バルブ)を開ける
- 5 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける



●2ハンドル混合水栓

- ①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

- ①湯側いっぱいに戻す
- ②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

- ①最高温度にする
- ②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

6 逃し弁のレバーを上げる

缶体排水栓より水が出ます。(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

コイル側給湯の場合



給水(バルブ)

- 3 閉める

排水栓

- 4 開ける

缶体側給湯の場合



給水元栓

- 3 閉める

排水栓(バルブ)

- 4 開ける

イラストは無煙突タイプ、ダブル缶タイプです。

お知らせ

- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 [22ページ](#)
- 暖房用の循環水に水を使用しているときは、お買い求めの販売店にご相談してください。

冬の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 排水栓 (バルブ) を閉める

2 逃し弁のレバーを下げる

3 給水元栓を開ける

4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

水が出にくい場合は凍結している可能性がありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

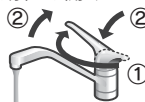
①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

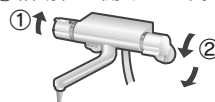
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める

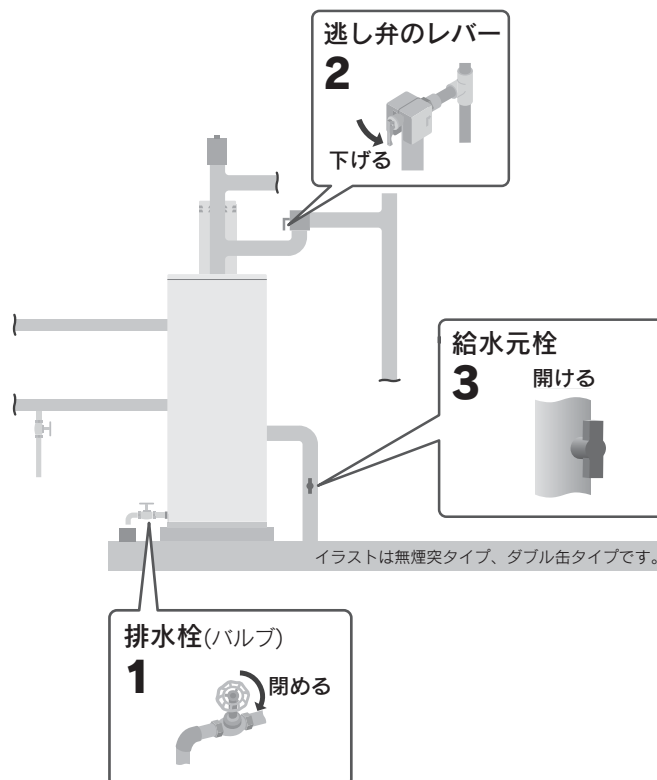


イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

5 電源プラグを差し込む



6 「点火前の準備と確認」 (15ページ) と「基本の使いかた」 (16~19ページ) に従って使用する



※暖房回路の再使用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

2 ときどき給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

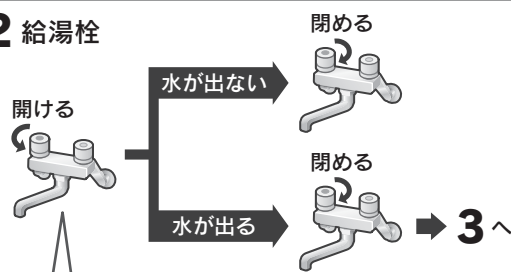
3 すべての混合水栓の給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

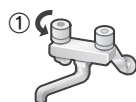
4 水道メーターが回っていないことが確認できた場合は「点火前の準備と確認」(15ページ)と「基本の使いかた」(16～19ページ)に従って使用する

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

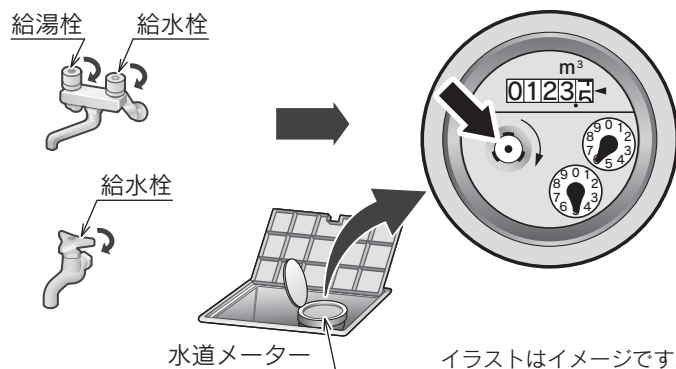
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 閉める

回っていないこと



イラストはイメージです。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。21ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意



注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・排気筒・拡散排気筒・給排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすいものがないことを確認してください。

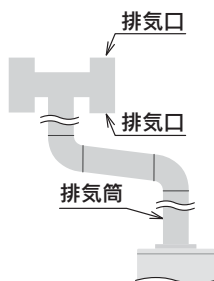
排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒・給排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

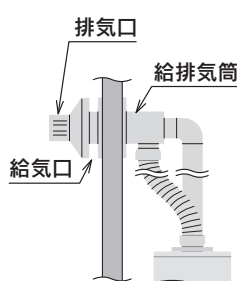
強制排気タイプ



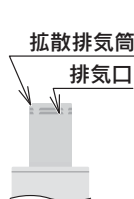
強制通気タイプ



強制給排気タイプ



無煙突タイプ



油タンク

給気部(後面)

PG-7004
PG-5304
PG-5304W
PG-4004
PG-4004W

11ページ

接続部

送油経路

イラストは無煙突タイプ、シングル缶タイプです。

機器外観

排気口・給気口・給気部・排水配管の先端
ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。

外装

部分的に変色していないこと、また錆びて
穴が開いていないことなどを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

水や化学そうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水漏れ

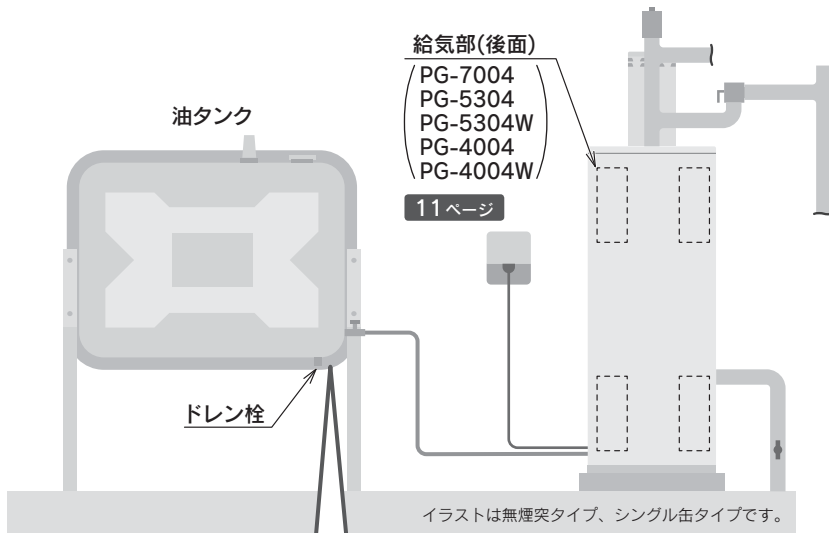
機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

日常の点検・手入れ

1年に1回以上

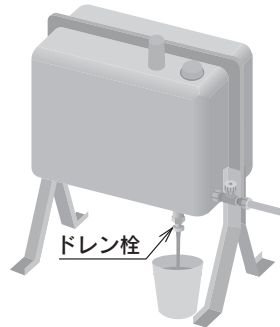
ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす

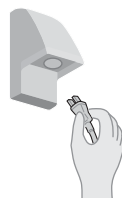
(強制給排気タイプの場合 **2ページ**)

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

給湯熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

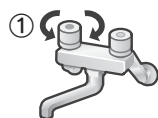
- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする
- 2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める
出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。
- 3 電源プラグを抜く
- 4 給水元栓を閉める
- 5 機器の排水栓(バルブ)と屋内の給湯栓を1箇所開ける
- 6 逃し弁のレバーを上げて、給湯熱交換器内の水を排水する
- 7 給湯熱交換器内の水の排水が終了したら、逃し弁のレバーを下げる



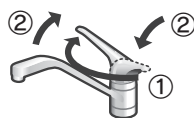
給湯栓

2
5
10

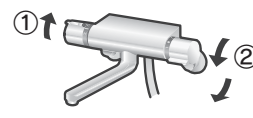
- 2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける / 閉める



- シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける / 閉める

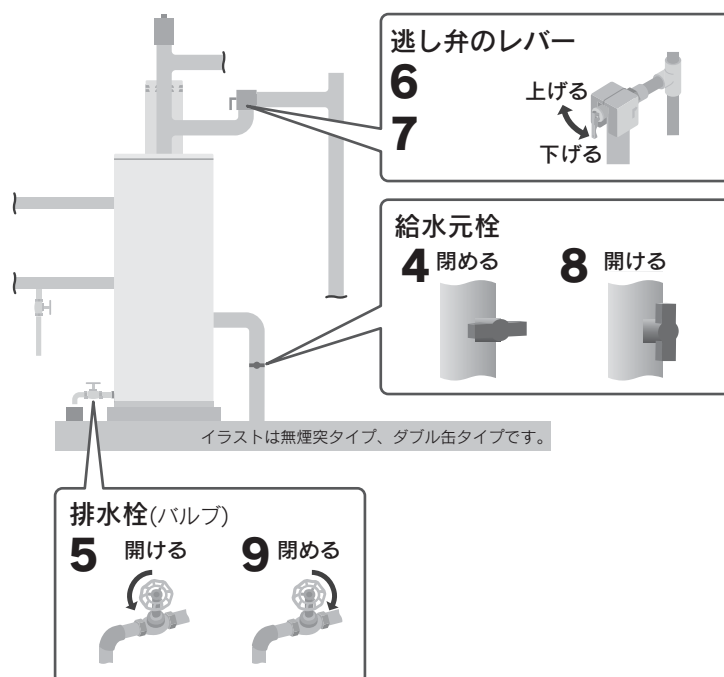


- サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

- 8 給水元栓を開ける
- 9 排水栓(バルブ)からきれいな水が出てきたら、排水栓(バルブ)を閉める
- 10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める
はじめは空気混じりの水が出ます。
- 11 電源プラグを差し込む



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検 (PG-4004・PG-4004W・PG-4004F・PG-4004WFの場合)

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間5年の前後それぞれ1年間(製造後4年から6年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「**特定保守製品についての説明書**」をご覧ください。

あんしん点検 (PG-7004・PG-5304・PG-5304W・PG-5304Fの場合)

点検時期になりましたら「あんしん点検」(有料)を受けてください

- 機器を長期間使用すると、経年劣化により安全上支障が生じるおそれがあります。
安全にご使用いただくために点検時期が近づきましたら、使用上支障がない場合でも「あんしん点検」を受けてください。
- 点検時期は前パネルの銘板に表示している「製造年月」から、設計上の標準使用期間※(5年)が終了する時期の前後1年間です。

- ◆「あんしん点検」はお客様の任意で受けていただく有料点検です。
- ◆点検費用は技術料や出張料などを合計した金額になります。
- ◆点検結果により、お客様が整備や修理を依頼された場合は、別途整備・修理費用が発生します。
- ◆「あんしん点検」は長期使用製品安全点検制度で定められた法定点検の点検基準を参考に、当社で設定した基準で点検します。
- ◆「あんしん点検」は点検した時点での機器の安全を確認するもので、機器の延命や性能を保証するものではありません。

所有者登録をお願いします

- 所有者登録を行うと、点検時期になりましたら弊社より「点検通知はがき」でお知らせします。
- 所有者登録は返信はがきの郵送、またはインターネットで登録できます。

郵 送	付属の所有者票の返信はがきに必要事項をご記入のうえ、切り取って郵送してください。
インターネット	https://www.chofu.co.jp/support/input/ にアクセスし、画面の案内に従って登録してください。

- ◆引越などで所有者登録の内容に変更が生じた場合は、以下の『「あんしん点検」に関するお問い合わせ先』から登録内容の変更を行ってください。
- ◆ご登録いただいた所有者情報は個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、「あんしん点検」やリコールなどの製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用しません。

「あんしん点検」に関するお問い合わせ先

電 話	☎ 0120-921-971 (無料) 受付/平日9時から17時(年末年始を除く)
インターネット	https://www.chofu.co.jp/inquiry/form.php にアクセスし、お問い合わせ内容を入力してください。

※設計上の標準使用期間について

- 設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件のもとで適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として、機器ごとに設定されるものです。「無料保証期間」とは異なりますのでご注意ください。
- この機器の設計上の標準使用期間は、5年と算定しています。

設計上の標準使用期間の算定の根拠

- ◆始期：製造年月(前パネルの銘板に表示しています。)
- ◆終期：JIS S 2071・JIS S 2072に基づいて以下の標準使用条件を想定し、当社において耐久試験などを行った結果に基づき、経年劣化により安全上支障が生じるおそれが著しく少ないことを確認した時期

標準使用条件

家族構成	4人世帯
業種	理髪店、美容院
用途	台所、洗面、シャワー、お湯はり
季節	中間期(春または秋)
気温、湿度	20℃、65%
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	912リットル
1日使用時間	2時間
1年使用日数	365日

<ご注意ください！>

- ◆標準使用条件を超える頻度や異なる環境で使用している場合は、設計上の標準使用期間よりも短期間で劣化が起きる可能性があります。この場合「あんしん点検」を受けていただく時期が早くなりますので、弊社までご連絡ください。
- ◆この機器を標準使用条件の用途以外で使用しないでください。設計上の標準使用期間よりも短期間で劣化が起きる可能性があります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 23ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	●燃料切れしていませんか。給油してください。 14ページ ●リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ●給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
	お湯が出なくなった	●燃料切れしていませんか。給油してください。 14ページ ●安全装置の作動が考えられます。 32ページ - リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 33・34ページ ・対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	●配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい (設定した温度にならない)	●リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなる場合があります。 ●サーモスタット付混合水栓を使用してぬるいときは、リモコンの給湯温度を確認してください。湯温安定のためリモコンの給湯温度は混合水栓の設定温度より高めに設定して使用してください。 ●1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓故障の可能性もあります。
	お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	●次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。
	高温のお湯が出ない	●給湯温度の設定が低くなっていませんか。
	お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が給湯器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

	こんなときは	確認してください
機器	排気口から湯気が出る	●排ガス中の水蒸気が、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音が出る	●燃焼室内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	逃し弁からお湯(水)が出る	●燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	●「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 14ページ
リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	●停電していませんか。 ●電源プラグが差し込まれていますか。 ●その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 32ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	●使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。

故障かな？と思ったら

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して運転を停止します。
過熱防止装置	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに、エラーコードを表示してお知らせします。

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

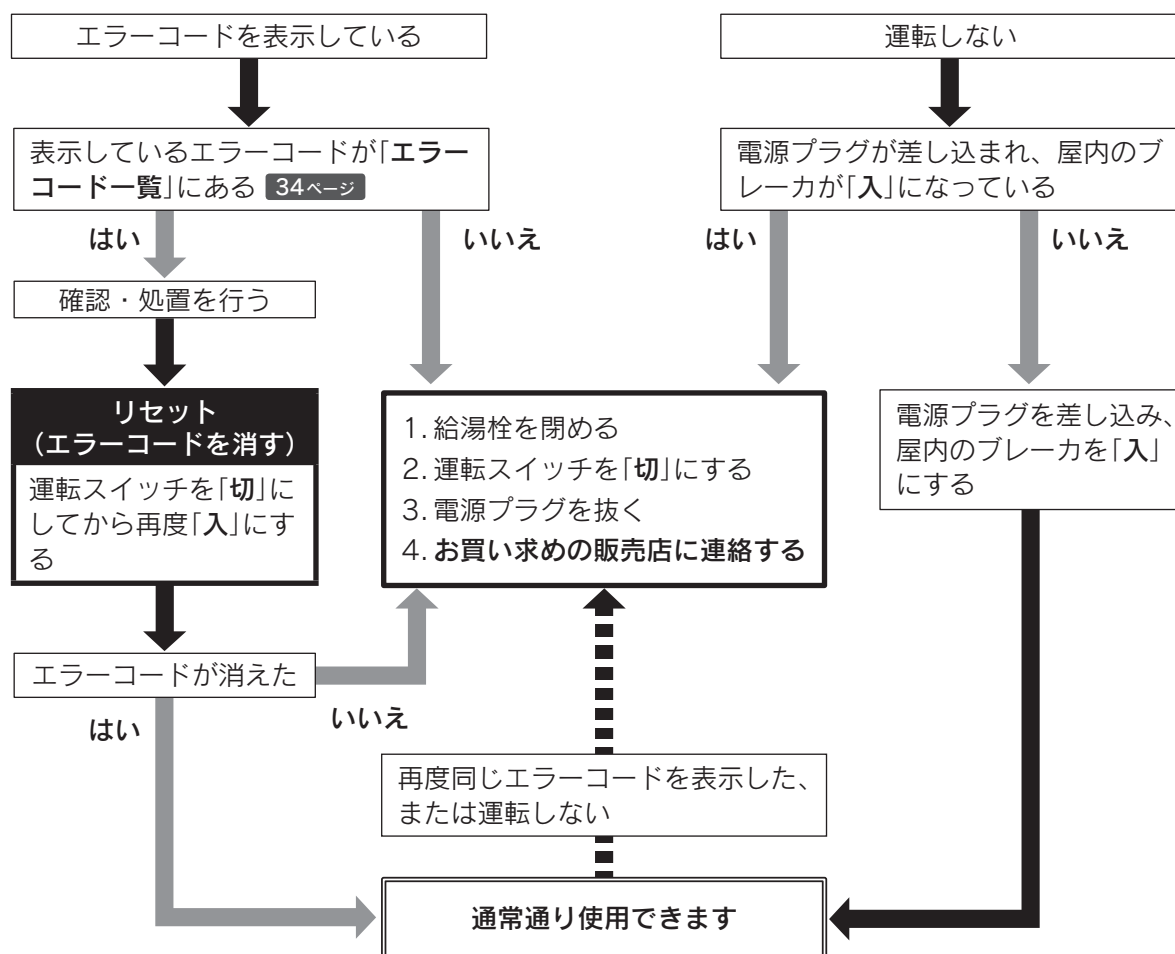
エラーコード表示位置



エラーコード

リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



故障かな？と思ったら

エラーコード一覧

エラーコード	説 明	確 認・処 置
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110	着火できない	燃料切れをしていませんか。油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブは充分開いていますか。 (燃料切れをしていた場合は、給油後リセットを2、3回行ってください。約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 14ページ)
120	燃焼中に火が消えた	
301	外気温を検知できない (警告表示)	機器の使用はできますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
740 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 (リセットは必要ありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-31 取付時)	油タンクに灯油を入れてください。
888	設計標準使用期間経過 (警告表示) ※1 法定点検対象機種	5年相当ご使用されたため、「点検時期をお知らせする機能」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用はできますが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連 絡 先：株式会社長府製作所  電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9：00～17：00 ※年末年始を除く
	点検時期のお知らせ (警告表示) ※2 あんしん点検対象機種	

※1 PG-4004・PG-4004W・PG-4004F・PG-4004WF

※2 PG-7004・PG-5304・PG-5304W・PG-5304F

■警告表示について

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

強制給排気タイプの場合 **2ページ**

- 給排気筒のOリングは下記に記載したものを使用します。

機種名	種類	呼び
PG-5304F	フッ素ゴム 4種D、線径φ3.5 給排気筒(屋内側)：内径φ79.6および内径φ100.4 給排気筒(屋外側)：内径φ80.6 排気エルボ：内径φ100.4	
PG-4004F・PG-4004WF	4種D(フッ素)(JIS B2401)	P70

仕 様

型名	PG-7004	
型式の呼び	PG-700	
種類	1 缶 1 水路式	
	圧力噴霧式・水道直結式(減圧弁・逃し弁必要)・給湯用・暖房用 屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形・屋内外用半密閉式強制通気形	
点火方式	高圧放電式	
使用燃料	灯油(JIS1 号灯油)	
燃料消費量	81.3kW(7.90L/h)	
暖房効率	84.4%	
暖房出力	68.6kW(59,000kcal/h)	
連続給湯効率	85.9%	
連続給湯出力	69.8kW(60,000kcal/h)	
間欠給湯出力	12,556kJ(3,000kcal)	
熱交換器容量	75.0L	
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa(1.0kgf/cm ²)	
伝熱面積	1.85m ²	
外形寸法	高さ 1,047mm 幅 514mm 奥行 748mm	
質量(満水時)	69kg(144kg)	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	点火時	125/120W
	燃焼時	105/100W
待機時消費電力	2.1W	
電源コードの長さ	約 1.5m	
排気温度	260℃以下	
排気筒の呼び径	120	
騒音レベル	52dB	
電流ヒューズ	10A	
送風機ヒューズ	3A	
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置	
その他の装置	電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品	リモコン・リモコンコード・タッピンねじ(リモコン取付用)・アンカー金具・温度表示シール 送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋・拡散排気筒(別梱包)	

型名		PG-5304	PG-5304W	PG-4004	PG-4004W
型式の呼び		PG-5304		PG-4004	
種類		1 缶 1 水路式	1 缶 2 水路式	1 缶 1 水路式	1 缶 2 水路式
		圧力噴霧式・水道直結式（減圧弁・逃し弁必要）・給湯用・暖房用 屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形・屋内外用半密閉式強制通気形			
点火方式		高圧放電式			
使用燃料		灯油（JIS1 号灯油）			
燃料消費量		61.7kW(6.00L/h)		46.3kW(4.50L/h)	
暖房効率※	コイル暖房	—	84.0%	—	84.2%
	缶体暖房	84.2%			
暖房出力※	コイル暖房	—	22.1kW(19,000kcal/h)	—	17.5kW(15,100kcal/h)
	缶体暖房	52.0kW(44,700kcal/h)		39.0kW(33,500kcal/h)	
連続給湯効率	コイル給湯	—	85.0%	—	85.3%
	缶体給湯	85.3%			
連続給湯出力	コイル給湯	—	51.0kW(43,900kcal/h)	—	35.6kW(30,600kcal/h)
	缶体給湯	52.6kW(45,200kcal/h)		39.5kW(34,000kcal/h)	
間欠給湯出力		15,000kJ(3,580kcal)		13,800kJ(3,300kcal)	
熱交換器容量	コイル側	—	5.2L	—	4.0L
	缶体側	58.6L	52.6L	48.4L	43.8L
使用圧力（最高使用圧力）		0.1MPa(1.0kgf/cm ²)			
伝熱面積		1.69m ²		1.45m ²	
外形寸法		高さ 1,107mm 幅 434mm 奥行 702mm		高さ 1,002mm 幅 434mm 奥行 702mm	
質量（満水時）		49kg(108kg)	54kg(112kg)	46kg(94kg)	50kg(98kg)
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz			
定格消費電力	点火時	110/110W		95/90W	
	燃焼時	80/ 80W		70/65W	
待機時消費電力		2.1W			
排気温度		260℃以下			
排気筒の呼び径		106			
騒音レベル		47dB		46dB	
電流ヒューズ		10A			
送風機ヒューズ		3A			
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置			
その他の装置		電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置（別売部品）			
付属品		リモコン・リモコンコード・タッピンねじ（リモコン取付用）・アンカー金具・温度表示シール 取扱説明書（保証書付）・工事説明書・所有者票袋			
		送油管・拡散排気筒（別梱包）			

※暖房効率・暖房出力の数値は、缶体：行き70℃/戻り50℃、コイル：行き60℃/戻り40℃のときの値です。

仕 様

型名		PG-5304F	PG-4004F	PG-4004WF
型式の呼び		PG-5304	PG-4004	
種類		1 缶 1 水路式		1 缶 2 水路式
		圧力噴霧式・水道直結式(減圧弁・逃し弁必要)・給湯用・暖房用 屋内用密閉式強制給排気形		
点火方式		高圧放電式		
使用燃料		灯油(JIS1 号灯油)		
燃料消費量		61.7kW(6.00L/h)	46.3kW(4.50L/h)	
暖房効率※	コイル暖房	—		84.2%
	缶体暖房	84.2%		
暖房出力※	コイル暖房	—		17.5kW(15,100kcal/h)
	缶体暖房	52.0kW(44,700kcal/h)	39.0kW(33,500kcal/h)	
連続給湯効率	コイル給湯	—		85.3%
	缶体給湯	85.3%		
連続給湯出力	コイル給湯	—		35.6kW(30,600kcal/h)
	缶体給湯	52.6kW(45,200kcal/h)	39.5kW(34,000kcal/h)	
間欠給湯出力		15,000kJ(3,580kcal)	13,800kJ(3,300kcal)	
熱交換器容量	コイル側	—		4.0L
	缶体側	58.6L	48.4L	43.8L
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		
伝熱面積		1.69m ²	1.45m ²	
外形寸法		高さ 1,107mm 幅 434mm 奥行 702mm	高さ 1,002mm 幅 434mm 奥行 702mm	
質量(満水時)		50kg(109kg)	46kg(94kg)	50kg(98kg)
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz		
定格消費電力	点火時	100/100W	110/105W	
	燃焼時	75/ 75W	85/ 80W	
待機時消費電力		2.1W		
排気温度		260℃以下		
給排気筒の型式の呼び		FF-80-092	FF-70-092	
給排気筒の呼び径		D80	D70	
給排気筒の壁貫通部の孔径		140mm	120mm	
騒音レベル		46dB(室内・正面)	45dB(室内・正面)	
電流ヒューズ		10A		
送風機ヒューズ		3A		
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
その他の装置		電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置(別売部品)		
付属品		リモコン・リモコンコード・タッピンねじ(リモコン取付用)・アンカー金具・温度表示シール ゴム製送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋・給排気筒一式(別梱包)		
		—	抜け防止金具	

※暖房効率・暖房出力の数値は、缶体:行き 70℃ / 戻り 50℃、コイル:行き 60℃ / 戻り 40℃のときの値です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

試運転はお買い求めの販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。

- 工事説明書の「試運転」に従って行ってください。

●このページは空白です。

長府石油給湯器保証書(販売店様控)

型 名	PG-7004・PG-5304・PG-5304W・PG-5304F PG-4004・PG-4004W・PG-4004F・PG-4004WF		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油給湯器保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	PG-7004・PG-5304・PG-5304W・PG-5304F PG-4004・PG-4004W・PG-4004F・PG-4004WF		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (2) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (3) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (4) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (5) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (6) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (7) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (8) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (9) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (10) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (11) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
- (12) 公害による不具合
- (13) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (14) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎ (083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「故障かな？と思ったら」[30～34ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	石油給湯器
型名	機器前パネルの銘板に記載されています。 2ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 給湯・シャワー・暖房以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339

携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を目的
として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理由
がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検・
修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1